

令和元年度 第1回 霧島市ふるさと創生有識者会議

開催日時	令和元年10月10日(木) 14:00~16:00		
開催場所	国分シビックセンター行政庁舎棟 別館 4階 中会議室		
出席者	有識者	山尾 和廣 委員長、藤山 光隆 委員、永山 達也 委員、地頭 政 委員 大竹 孝明 委員、外山 浩己 委員、鶴ヶ野 未央 委員、福原 平 委員 東 花行 委員 (全15委員中9人が出席)	
	霧島市	霧島PR課：蔵元 総務企画G長、木原 シティプロモーション推進G長、 美坂 シティプロモーション推進G S L、今吉主査 観光課：隈元 観光振興G長 商工振興課：梶 主幹兼商工観光政策G長、春口 主任主事、宮之原主任主 事 保健福祉政策課：野村 政策G長 健康増進課：中村 主幹兼保健予防G長 子育て支援課：市来 課長補佐兼子ども・子育てG長、富田 主幹兼保育・ 幼稚園G長 総務課：中村 主幹兼総務管理G長 建設政策課：笛田 政策G長 農政畜産課：鮫島 農林水産政策G長 地域政策課：貴島 主幹兼中山間地域活性化G長、鬼塚主査 市民活動推進課：原田 市民環境政策・国際交流G S L 教育総務課：立野 主幹兼教育政策G長	
	事務局	有馬 企画部長、永山 企画政策課長、野崎 企画政策課長補佐兼行革推進G 長、森山 主幹兼企画政策G長、石塚 企画政策G主査	
公開・一部非公開又は非公開の別	公開	傍聴人数	0人
<p>会次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 委員長あいさつ</p> <p>3 委員の紹介・あいさつ</p> <p>4 議事</p> <p>(1) 平成30年度末実績における霧島市ふるさと創生総合戦略の取組状況について 資料1~2</p> <p>(2) 霧島市ふるさと創生総合戦略の改訂について資料1</p> <p>(3) 平成30年度地方創生推進交付金事業について資料3</p> <p>5 報告</p> <p>(1) 平成31年度霧島市ふるさと創生総合戦略関連主要事業について資料4</p>			

(2) 次期「霧島市ふるさと創生総合戦略策定方針」について資料5

6 その他

7 閉会

議事等の概要

議事

㊦：委員 ㊦：事務局

(1) 平成30年度末実績における霧島市ふるさと創生総合戦略の取組状況について

→ 事務局から資料1、2に基づき説明。委員からの主な質疑、助言、提言等は次のとおり。

㊦ 高校卒業時の就職率36.9%は卒業生の総数のうち、地元就職した人数の割合なのか、就職を希望した人数の割合なのか。

㊦ 就職した総数のうち市内に就職した割合である。

㊦ 大学卒業時の就職率は9%であるが、目標値に向けた対策はあるか。

㊦ 大学等の学生が、霧島市外の出身者が多いために卒業後に霧島市に就職する学生は少ない状況である。

本市では、学生就職支援プロジェクト推進事業として、学生等向けに地元企業による説明会等を行っている。今後も協力機関やハローワークと連携を図り、地元企業の魅力を大学等へ情報発信し、目標値に向けた地元就職率の向上を目指していく。

(2) 霧島市ふるさと創生総合戦略の改訂について

→ 事務局から資料1の改訂項目（再生可能エネルギー導入容量）について説明。委員からの主な助言・質問等は次のとおり。

㊦ 基準値の306,787kwは、どのくらいの一般家庭をまかなえる容量なのか。

㊦ 一般家庭の平均電力量が約30Aとした場合、10,226世帯の発電量となる。
なお、全国1,741市町村あり、霧島市の発電導入容量は15位であり、太陽光発電整備が進んでいる状況にある。

(3) 平成30年度地方創生推進交付金事業について

→ 事務担当課（霧島PR課、商工振興課）から資料3-1、3-2、3-3及び3-1-1、3-1-2に基づき説明。委員からの主な助言・質問等は次のとおり。

- Ⓔ それぞれの事業が人口ビジョンの目標にどのように影響しているのか。
- Ⓕ キリシマイスターを通して、地域に関わる機会を増やすことで、住み続けたいと思ってもらえるよう、教育の一環として取り組んでいる。また、このような取組を市外へ発信することで、移住にも繋がると考えている。
- Ⓖ 事業のコンセプト等は職員が作成しているのか、それとも企画運営会社が作成しているのか。また、全国で同じような取組がされているように感じるが、独自性はあるのか。
- Ⓗ キリシマイスターの取組に関しては、霧島市の魅力をまずは市民に向けて発信し、まちを好きになってもらうことを目的として始まった。取組開始前の調査では、同じような取組はなかったと認識している。この褒め合う活動は、メディアで紹介されたり、全国から視察に来られたりと先進的な取組であると考ええる。
- Ⓙ キリシマイスターは素晴らしい取組であるが、PRの方法を工夫し、認知度をさらに上げていただきたい。霧島市を紹介する際に使用できる、紹介ビデオ等はあるか。
- Ⓚ 霧島市全体の紹介ビデオと、観光バージョンのビデオ等がある。また、昨年、観光課にて水をテーマにした紹介ビデオを作成した。
- Ⓛ キリシマイスター等の取組を行う上で、市民は人口ビジョン等について理解をしているのか。
- Ⓜ キリシマイスターについては出前講座等を実施しているが、人口ビジョン等についての説明はしていない。まちのファンを増やす取組であることは説明している。

報告

Ⓔ：委員 Ⓕ：事務局

(1) 平成31年度霧島市ふるさと創生総合戦略関連主要事業について

→ 事務局から資料4に基づき説明。委員からの主な質疑、助言・提言等は次のとおり。

- Ⓔ 総合戦略では人口目標を13万人としているが、実際は社人研の推計に近づいており、目標と現実が乖離している。そのような状況を、平成31年度主要

事業には反映しているのか。

- ㊦ 予算編成は、総合戦略をリーディングプロジェクトとして作成した霧島市第二次総合計画に基づいて行っているため、総合的に反映している。

(2) 次期「霧島市ふるさと創生総合戦略策定方針」について

→ 事務局から資料5に基づき説明。委員からの主な質疑、助言・提言等は次のとおり。

- ㊦ 2060年度の人口13万人という目標の検証を行うにあたり、現実的な数値に基づいた施策を推進するべきだと考える。
- ㊦ 10月頃アンケート実施とあるが、内容はどのようなものか。
- ㊦ 市民向けのアンケートとしては、霧島市での生活や、結婚、出産、子育て等に関する設問となっている。その他、企業や学生に向けたアンケートも実施予定であり、アンケート結果を踏まえて、次期総合戦略を策定する予定である。

その他 ㊦：委員 ㊦：事務局

- ㊦ 人口目標の達成が難しいのではないかと考えるが、委員の皆さんの意見を伺いたい。
- ㊦ キリシマイスターやガストロノミー等は徐々に成果が出始めており、次期総合戦略はそれを踏まえて策定するため、人口ビジョンの見直しに関しては、改めて議論が必要であると考えます。
KPIの設定については、実績や傾向の把握が確実にできる項目としていただきたい。
- ㊦ 人口ビジョンは、減少していくと推計されている中での維持は難しいことだが、霧島地区は伸びる要素が多く、やり方次第なのだと感じている。交通、産業等があり、総合戦略はそれらを踏まえて策定すべきだと考える。
今回実施するアンケートについては、早めのフィードバックがあれば、委員として協力が可能である。

会議資料	会次第
	資料 1 霧島市ふるさと創生有識者会議 資料
	資料 2 総合戦略の具体的施策ごとのK P Iの現状について
	資料 3 平成 30 年度地方創生推進交付金事業検証シートについて
	資料 4 平成 31 年度霧島市ふるさと創生総合戦略関連主要事業について
	資料 5 次期「霧島市ふるさと創生総合戦略策定方針」について
	参考資料 まち・ひと・しごと創生基本方針 2019